

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

2021 No.551

Network 11 / 1

Now

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



岸田文雄衆議院議員との リモートヒアリング行われる (Web開催)

2021年9月11日(土)午後4時から4時40分まで、『岸田文雄先生が診療放射線技師の「声」を聴く』(リモートヒアリング)という企画で、哇元将吾衆議院議員のエスコートの下、岸田文雄衆議院議員との診療放射線技師に関わる政策についてのWebヒアリングが行われた。

主な内容は、初めに、新型コロナウイルス感染症について診療放射線技師の対応状況を本会富田博信副会長が報告し、



続いて、診療放射線技師の業務概要を上田会長から説明した。その後、診療放射線技師の適正配置について、画像診断分野のAI技術支援について、正しい放射線の知識の周知についてなど、上田会長から詳細な説明を行った。

ヒアリングの最後に、日本診療放射線技師連盟の芳士戸治義理事長、中上康次副理事長よりあいさつがあった。

詳細は、本会会誌に掲載を予定しているのをご参照されたい。

■岸田文雄先生が診療放射線技師の「声」を聴く

<https://www.youtube.com/watch?v=uwrAcsyuLh0>



告示研修(実技研修)開催される

2021年9月18日(土)、新潟東映ホテルを会場として、役員と運営委員を対象に告示研修(実技研修)が開催された。新型コロナウイルス感染拡大の影響で1カ月延期となっていた開催であった。

午前中は合計165分の動画を視聴し、午後からの実技研修に備えた。実技は「静脈路確保(核医学検査手技、CT/MRI/超音波造影検査手技を含む)」「動脈路に接続する行為」

「消化管(上部・下部)」の3部屋に分かれて研修を実施した。今後、8地域での実技研修ならびにファシリテーター育成講習を経て、各都道府県で実技研修を実施していくこととなる。

なお、各都道府県で開催する実技研修について、当初、10月からの開始を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開始時期が遅延していることをお詫び致します。

実技研修内容

項目	内容
動画の視聴 (ビデオ)	造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針および止血を行う行為に関する実際症例等撮影動画
	核医学検査のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為に関する実際症例等撮影動画および注入機器の取り扱いおよび注入行為
	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為に関する実際症例等撮影動画および注入機器の取り扱いおよび注入行為
	下部消化管検査（CTコロノグラフィー検査を含む）のため、注入した造影剤および空気を吸引する行為に関する実際症例等撮影動画およびガス注入機器の取り扱いおよび注入行為
	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為に関する実際症例等撮影動画
実技研修	静脈路を確保する行為の実技研修
	CTおよびMRI造影検査手技の実技研修
	超音波造影検査手技の実技研修
	造影剤を使用したその他の検査手技の実技研修
	核医学検査手技の実技研修
	放射性医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為の実技研修
	動脈路に接続する行為
下部消化管	CTコロノグラフィー検査におけるカテーテル挿入に関する行為の実技研修および下部消化管検査（CTコロノグラフィー検査を含む）で注入した造影剤および空気を吸引する行為の実技研修
上部消化管	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為の実技研修および造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為の実技研修



会費未納による除籍者から債務の回収を開始致します

INFORMATION

2021年10月2日(土)に開催された2021年度第3回理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については**2022年4月1日付で会費未納除籍者の債務について委託回収を開始致します。**

本会では、定款第8条で「会員は（中略）会費を納入しなければならない」、同じく第9条3項では「2年以上の会費未納入の場合には会員資格の喪失」と定められております。

また入退会等に関する規程第2章第2条、会費等納入規程第2章第2条、第3条および第3条2項によって会員は会費の納入義務を負っております。

これまで、この規程についての扱いが曖昧であったことから、再入会申し込みの際に混乱を引き起こしておりました。

ご所属の都道府県（診療）放射線技師会会費につきましては、未納会費を回収委託されるかどうかは各都道府県技師会のご判断となりますので、各都道府県技師会事務局ご担当者さま宛てにお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ：日本診療放射線技師会 財務担当 江端清和 E-mail：info@jart.or.jp

義務研修

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



© 横幕智裕・モリタイン/集英社
「ラジエーションハウス」集英社 グランドジャンプにて連載中

医師の働き方改革を推進するため、医師から診療放射線技師への
タスク・シフティングにより診療放射線技師の業務が拡大されます。

あなたの診療放射線技師免許アップデートが必要です!!

画像検査のプロ集団として、国民のために診療放射線技師籍登録者全員が
受講しなければならない告示研修会（義務研修）が開催されます。



詳しくは JART 特設サイトへGo !

URL http://www.jart.jp/activity/kokujikousyuu_2021.html

上田会長、厚生労働省 労働基準局 坂井氏および 労災疾病臨床研究事業研究班 榎田氏と対談する (Web対談)

昨今、診療放射線技師に関係するさまざまな法改正が行われ、特に、放射線管理業務に関する部分が厳格になっている。医療における放射線の管理については難しいところもあるが、今回（2021年8月19日（木））、厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課 電離放射線労働者健康対策室の坂井

寛毅氏、および厚生労働省 労災疾病臨床研究事業研究班代表の榎田尚樹氏と本会上田会長が、富田副会長の司会によりWeb対談を行い、その概要と見解を語っていただいた。

詳細は、本会会誌に掲載する予定なのでご期待いただきたい。



坂井寛毅氏



榎田尚樹氏



上田克彦会長



富田博信副会長

2021年度 診療放射線技師養成機関・ 職域団体との懇談会 開催される (Web開催)

2021年9月25日（土）午後2時より、Web方式で2021年度診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会が開催された。今回、養成機関からは国公立大学14校、私立大学23校、専門学校12校、職域団体からは9団体の総勢81人の方々にご出席いただいた。本会からは上田克彦会長、江藤芳浩副会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長、中村勝業務執行理事、江端清和理事、北村秀秋理事、江田哲男理事が出席した。懇談会は江田理事の司会で始まり、上田会長のあいさつに続いて、本年度、本会が取り組んでいる事業展開について報告を行った。

報告の主な内容は、今後の告示研修の予定について児玉副会長から詳細な説明がなされた。また6月に提出した診療報酬改定に向けての要望書や、今春、本会診療放射線技師国家試験問題評価委員会から提出された第73回国家試験の答申について報告がなされた。

続いて会場から、新型コロナウイルス感染拡大に伴い臨床実習の受け入れがされない問題や、国家試験問題の見直しなどについて本会へ要望として提案があった。上田会長からは、

臨床実習受け入れについては施設ごとの諸事情となるため対応は難しく、ご参加いただいた職域団体の皆さまにご理解とご協力をお願いした。その他、多くの質問などがあり、活発な意見交換がなされた。

最後に富田副会長より、新しい入会促進パンフレットを製作しており、完成後に養成校へ発送することが報告された。

閉会の言葉として江藤副会長より、本懇談会は本会としてもとても重要な会議と考えていることが述べられ、本懇談会は閉会した。



国家試験日程決まる

第74回診療放射線技師国家試験の施行について、2021年9月1日付で厚生労働省から報告があった。

試験期日は2022年2月17日(木)、試験地は、北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県である。試験科目は、基礎医学大要・放射線生物学(放射線衛生学を含む)・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・

放射線治療技術学・放射線安全管理学である。合格発表は2022年3月23日(水)午後2時である。なお、試験に関する手続きおよび問い合わせ先は以下の通りである。

「診療放射線技師国家試験運営本部事務所」
〒135-0063
東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館7階
TEL: 03-5579-6903

第3回 読影の補助分科会 Master's eye seminar 開催される (Web開催)

2021年9月16日(木)、全国の会員に向けてWebによる第3回読影の補助分科会Master's eye seminarが開催された。講師に東京医科大学病院の吉田和則氏を招き、「実臨床に役立つ胸部画像の見方、考え方③「浸潤影、すりガラス影」」をテーマに開催された。主な内容は、前半は、新型コロナウ

イルス感染症による肺炎像と好発部位、感染の機序、重症化に伴う画像所見の変化について解説がなされた。後半は、胸部における浸潤影とすりガラス影を呈する疾患の画像を観察する際の、肺胞性肺炎と間質性肺炎の特徴を理解することの大切さについて解説がなされた。



加藤京一分科会長



吉田和則氏 (東京医科大学病院)

※「読影の補助分科会」は「STAT画像報告分科会」に名称変更することが2021年10月の理事会で決定しました。

本会への入会手続きについて (お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちら」をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL: 03-4226-2211 E-mail: info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

業務改善推進委員会 南関東地域 第6回研修会 開催報告 (Web開催)

公益社団法人日本診療放射線技師会
業務改善推進委員会 新井 愛

2021年8月21日(土)、南関東地域第6回研修会を開催致しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を断念せざるを得ませんでしたが、本年度はZoomを活用し、東京都診療放射線技師会研修センターをHOSTとして、メイン進行を長野県診療放射線技師会の事務所から、他のスタッフもおのこの地域で遠隔でつながり、無事に研修会を実施することができました。



研修に先立ち、長野県診療放射線技師会 大塚会長より開会のごあいさつを賜りました。

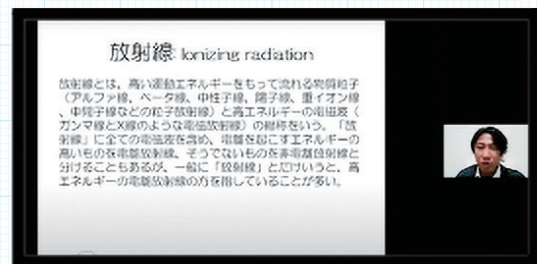
本研修会は1年延期しておりましたが、その内容は色あせることはありませんでした。初めに、ノンテクニカルスキル向上を目指して『コミュニケーション能力を向上させる方法～伝える力と受け取る力～』と題して、拓殖大学の長尾先生にご講演いただきました。医療従事者として不可欠な分野ですが、視点を変えると見える化する可能性があることなどを理解しやすくお話いただき、患者さまの立場になり、どういった不安があるかを考える機会となりました。



次に、テクニカルスキルとして2つの講演を頂きました。1つは『マンモグラフィ読影のFADと腫瘍の鑑別方法を中心に』と題して、栃木県保健衛生事業団の阿部先生にご講演いただきました。最新のガイドラインを含め、過去画像との比較の重要性とチャートに沿った鑑別方法を、多くの症例を提示しながらお話いただきました。



もう1つは、医療法改正に伴う線量管理として『放射線被ばく管理』いつやるか?』と題して、上尾中央総合病院の佐々木先生にご講演いただき、被ばく管理の資格取得だけでなく、働きやすい環境づくりの重要性について理解を深めました。



最後に、昨年皆さまにご協力いただき実施致しました『COVID-19による生活環境の変化について』のアンケート報告をスタッフの岡野より報告させていただきました。

全国から事前登録者221人というとても喜ばしい参加人数であり、研修会アンケート結果からもおおむね好評であったので、次回に生かしていけたらと考えております。なお、こちらの不手際によりリアルタイムで聴講できなかった方に深くおわび申し上げます。お時間がありましたら、後日、配信させていただきました当日の研修会の内容を聴講いただけますと幸いです。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

徳島県 (Web開催)

一般社団法人徳島県診療放射線技師会 会長 藤原 良介

徳島県診療放射線技師会では2021年8月29日(日)午前8時30分より、フレッシューズセミナーをZoomミーティング形式で開催し、8人の参加者がありました。

講義内容は、エチケット・マナー講座、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、胸部単純撮影講座、被ばく低減、告示研修、入会案内です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、残念ながら開催を断念致しました。本年度も、同感染症の影響を大きく受けていることには変わりはありません。このような状況であるものの、Zoomミーティングという手段を用いて開催できたことは確実な前進であったと考えています。

しかしながら、本来であれば新人の方々の熱量を直接感じて、表情の動きを拝見しながら対面で行うことが理

想であります。また新人の方々も技師会の活動を肌で感じていただく良い機会であるはずですが、開催内容の一部に参加型の形態を織り込めるよう工夫が必要であり、以降の目標にしたいと考えています。



これからの技師会の活動は、現状を鑑み当面の間、Web開催を中心とした活動とならざるを得ませんが、Web開催の利点を生かしつつ、聴講した方々が参加したなど実感できる開催方法を模索し、情報の収集を図る必要を再認識しました。

近い将来、新型コロナウイルス感染症の感染状況が回復し、「ああ、あの時の」と声を掛けることができる日が来ることを楽しみにしています。

熊本県

一般社団法人熊本県放射線技師会 会長 西小野 昭人

熊本県では2021年9月11日(土)、市民会館シアーズホーム夢ホール 第5・第6会議室で2021年度のフレッシューズセミナーを開催致しました。当初は6月ごろの開催を模索していましたが、開催日程を考える時期は新型コロナウイルス第4波の真ただ中で、会場の予約が難しい状態が続きました。そのため制限が緩和されてからの予約となり、通常よりやや遅めの9月開催になりました。熊本県放射線技師会の常務理事会では、できれば会場型での開催を望む声が多く、Webでの開催は見送りました。会場は感染状況に左右されない施設を選び、十分なソーシャルディスタンスが取れる広さで、換気の良い会場を選定致しました。



毎年30人程度の受講者数で推移しているところですが、昨年度からは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加を制限している施設もあります。本年度も申し込み時点では27人でしたが、最終的には18人の受講となりました。

毎年、さまざまな研修会を開催していますが、特に新人の研修会では受講者の緊張感が伝わってきます。全員が真摯に受講している姿を見て、心より開催してよかつ

たと思っています。職場の事情で本年度やむなく参加できなかった方におかれましては、来年度にぜひ参加していただきたいと思っております。



内容は、「入会案内」から始まり「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション講座」「医療安全講座」「感染対策講座」「被ばく低減について」「気管支解剖講座」と5時間を超えるセミナーでした。どの講座も講師のオリジナル性を取り入れています。特に「入会案内」では職能団体の必要性を分かりやすく説明しており、会員数の増加につながっているものと思っています。その他の講義についても今後の仕事に役立つ内容であり、それぞれの施設で、新人教育にぜひ活用していただきたいと思っております。



これからもフレッシューズセミナーは継続していきませんが、来年度は通常通りの時期に平穩に開催できることを祈念致します。

奈良県 (Web開催)

公益社団法人奈良県放射線技師会 教育委員長 日浦 之和

奈良県では、2021年度の「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー」を新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑みて、昨年度同様にオンデマンド配信で開催致しました。開催期間は2021年9月18日(土)から26日(日)までとし、奈良県放射線技師会ホームページ、施設への案内郵送、会員へのメール告知で広報しました。申込者26人、視聴者14人、修了証発行対象者4人でした。

本セミナーは、医療職場で働くための基本的な内容から専門知識に至るまで、また社会人として必要なスキルを動画で視聴していただきました。視聴いただいた皆さまの今後の業務に役立つことができれば幸いです。

内容は、医療コミュニケーション、胸部撮影、エチケット・マナー、医療安全、被ばく低減、感染対策講座、技師会活動についての7つの講演動画と確認テストをオンデマンド配信しましたが、全ての内容を視聴いただくことの難しさを痛感しました。今後は、内容や開催方法な



どに工夫や改善を加えていきたいと思えます。

最後に、本セミナー参加の皆さまおよび講師の皆さま、JART事務局の皆さまに感謝し、開催報告とさせていただきます。今後とも、奈良県放射線技師会の活動へのご協力のほど、よろしくお願い致します。

出たー!!!

私が住んでいるのは北海道の旭川市です。今年、北海道ではヒグマが市街地に出没して問題となっています。6月18日には、人口200万の大都市である札幌の住宅街にヒグマが現れ、小学校や丘珠空港の敷地内を走り回るなどして、住民ら4人を襲いました。現地はJR札幌駅から4キロほどの場所であり、通常、ヒグマが現れるとは全く予想されていない場所であり、非常に驚きました。

その1週間後、今度は私が住む旭川にもヒグマが現れました。ヒグマは石狩川とその支流の河川敷を移動していたようで、たくさんの方で目撃されていました。恐ろしいことにJR旭川駅裏の河原でも目撃されました。私の勤務する病院は石狩川の川沿いに建っていますが、病院裏の河原でもヒグマの移動が目撃されていました。そのため病院裏の堤防には、黄色と黒の規制線テープが張られ、立ち入り禁止となりました。また夜間の病院への侵入を防ぐため、病院正面玄関は電源が切れ、ドアが自動で開閉しないようにされました。現在でも河川敷と堤防の規制線は解除されておらず、テープは張られたままとされています。私は60年ほど北海道に暮らしていますが、市街地にヒグマが現れたのは生まれて初めての事です。

北海道のヒグマの生息数は推定が困難なようですが、北海道庁環境生活部環境局の資料によると、2012(平成24)年の推定値は10,600頭(±6,700頭)となっています(この推定値

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

は誤差が大きすぎて信用できない数字だともいわれています)。そしてその後も生息数は増加し、現在、かなりの数のヒグマが生息していると考えられています。北海道立総合研究機構の資料によると、北海道の全ての山には、ヒグマが生息していると考えられるべきであると報告されています。そしてNHKの調査によると、今回の事件では、ヒグマは河川敷や緑地帯を通過して、山から市街地にやって来ているようです。自然保護の観点から整備した河川敷や緑地帯が、ヒグマの市街地への出没を招いたようです。

近年はいろいろ想定外のことが起こっていると、皆さま感じていることと思います。昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の流行も全く予想していませんでした。今回のヒグマの出没についても、ここ何十年もそのようなことは起きていなかったもので、予想されていませんでした。これからはたくさんの方の想定外の事象は起こるのでしょうか。どんなことでも事前に想定・想像さえしておけば想定外とはならないので、想像力を駆使すれば、どんなことにも準備が可能となるのかもしれませんが、とはいえ、全てのことを想定するのは不可能でしょうから、想定されることに対しては準備を怠らず、もしも想定外のことが発生した場合には、その問題に対処することを楽しんでいくような、おおらかな心の持ち方が必要なのではないでしょうか。

(文責：大野 肇)

INFORMATION



第37回日本診療放射線技師学術大会
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
第28回東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

最終回 東京への道 Go To TOKYO

大会長 篠原 健一

(公益社団法人東京都診療放射線技師会 会長)



昨年のNetwork Now12月号から連載してきた「東京への道 Go To TOKYO」ですが、一年がたつのは早いもので、いよいよ学術大会開催月（最終回）となりました。

第1回では、会場のビッグサイト、日本の食・風景・名所などの画像を配しました。第2回以降、実行委員長など大会役員、東西に長い東京に配置する東京都診療放射線技師会の5つの支部（16の地域）ごとに、いろいろな場所や歴史を紹介してまいりました。最終回では、本会（事務所＝研修センター）のある荒川区に絡めてみたいと思います。

実は「荒川区」に荒川は流れていません。厳密には“今は”です。区の北側と東側の境に接して流れる隅田川が、以前は「荒川」と呼ばれていたことに由来します。明治末期から昭和初期にかけて、岩淵水門（東京都北区）から東京湾河口までの荒川放水路が建設され、こちらが荒川本流と呼ばれるようになりました。ドラマで金八先生が河川敷を闊歩しているところです。以来、岩淵水門から下流の旧荒川は「隅田川」に改称され、放水路は下町を洪水から守ってきました。

現在の岩淵水門は、隅田川の水位が4メートルに達すると自動的に閉じる仕組みだそうです。ちなみに、旧岩淵水門（赤門）の手前に電柱のようなものがあり、過去の洪水の水位を表示しています。1947（昭和22）年のカスリーン台風（8.60m）、1958（昭和33）年の狩野川台風（7.48m）などが記録されています。放水路がなく、水門を閉じることができなければ、東京の下町は甚大な被害を受けたことでしょう。



出典：「国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所」

この荒川放水路開削工事を指揮したのは、青山士という人で、かのパナマ運河建設に携わった唯一の日本人だということです。青山氏はパナマから帰国後、内務省に採用され、荒川改修および放水路開削工事の責任者として荒川放水路を建設しました。工事完成後には青山氏および工事関係者一同が、工事の犠牲者を弔うために資金を出し合って荒川放水路完成記念碑を岩淵水門のそばに建てましたが、そこには以下の言葉が記されています。

「此ノ工事ノ完成ニアタリ多大ナル犠牲ト労役トヲ私ヒタル 我等ノ仲間ヲ記憶センカ爲ニ」

この碑には青山氏の名前は刻まれていません。放水路は関係者全員による努力の結果完成したものであり、特定の個人の名前を記念碑に記すべきではないとする氏の思想が明確に示されているそうです。

青山氏は、「私はこの世を、私が生まれたときよりもより良くして残したい」と、生前よく語っていたといえます。

今学術大会も、何か一つでも今までにない今後のために役立つことがあれば幸いです。



出典：「土木学会図書館 青山士 略歴及び著書・論文」



出典：「近代史跡・戦跡紀行～慰霊巡拝 旧岩淵水門（赤水門）」





第37回

日本診療放射線技師学術大会

37th Japan Conference of Radiological Technologists

第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会
(23rd AACRT)

第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Lets promote team medical care with the nation

技術の多様性と人の調和

Diversity of technology and Harmony of people

■ 2021年11月12日(金) ▶ 14日(日)

■ 東京ビッグサイト



〈Web併用〉

会長
President

上田 克彦 Katsuhiko UEDA
公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長
Chairman

篠原 健一 Kenichi SHINOHARA
公益社団法人 東京都診療放射線技師会会長



■ 運営事務局
公益社団法人東京都診療放射線技師会
<http://web.apollon.nta.co.jp/37jcr/>
E-mail: taikai2021@tart.jp

主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
後援 厚生労働省
東京都

2021年度レントゲン週間イベント(市民向けイベント)の紹介

本年度の本会共催/後援のレントゲン週間イベント(市民向けイベント)が以下の通り開催されます(すでに終了したイベントも含む)。詳細は、各県(診療)放射線技師会にお尋ねください。

地域	都道府県名	日程	イベント名	会場	主催
東北	秋田県	11月6日(土)	医療放射線画像展2021	JR秋田駅ぼぼろード	秋田県診療放射線技師会
東北	宮城県	11月3日(水・祝)	第15回日本放射線技術学会・日本診療放射線技師会合同公開市民講座	東北大学医学部 星陵会館	宮城県放射線技師会ほか
中日本	福井県	12月5日(日)	健康フェア2021	ショッピングシティベル 1階北コート	福井市健康管理センター
中日本	三重県	11月7日(日)	レントゲン祭	ホテルグリーンパーク津	三重県診療放射線技師会
近畿	兵庫県	10月16日(土)～17日(日)	ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバルin神戸	メリケンパーク	兵庫県
中四国	島根県	10月30日(土)～31日(日)	2021レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ「あなたのための医療放射線展」	健康公園出雲ドーム	島根県診療放射線技師会
中四国	高知県	10月16日(土)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021高知	高知県立春野総合運動公園	日本対がん協会

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

- フレッシューズセミナー開催予定: 岐阜 11月22日(月)～12月13日(月) Web(動画配信オンデマンド開催)

11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

- 告示研修(基礎研修): Web開催 7月31日(土)から
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修:
Web開催 12月26日(日)締め切り
※お申し込み成立の日から2022年1月30日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 第37回日本診療放射線技師学術大会 JART-JSRT合同シンポジウム
生殖腺(性腺)防護について考える: 東京 11月13日(土) ※当日参加が可能です。
- 画像等手術支援認定講習会: Web開催 11月28日(日)
- 死亡時画像診断(Ai)研修会: Web開催 2021年12月6日(月)午前11時から2022年3月7日(月)午後3時まで(予定)
※e-ラーニング形式。お問い合わせは日本医師会 医事法・医療安全課 03-3942-6484まで。
- 放射線被ばく相談員講習会: Web開催 12月12日(日)
- 放射線機器管理地域研修会: 静岡 12月26日(日)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程: www.jart.jp/activity/lifelong_study/2021_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程: www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000007170.html

事務所 案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。